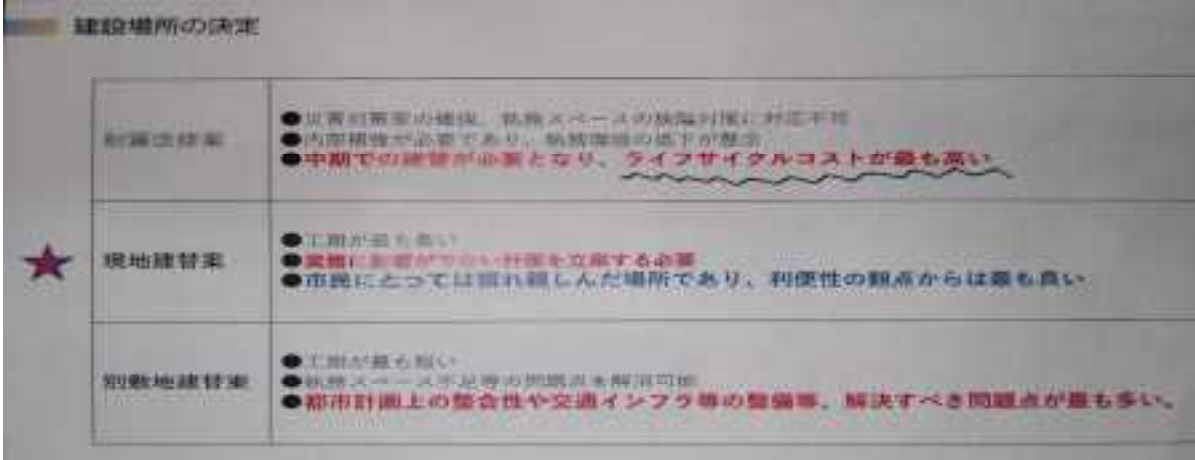


## 委員会先進地視察報告書総括表

1 視察日	令和 5年 11月 7日 ~ 11月 8日	
2 視察地・項目	① 京都府 府 八幡 市	・市庁舎建設における議場及び議会棟設備について
	② 愛知 県 常滑 市	・市庁舎建設における議場及び議会棟設備について ・YouTubeを活用した情報発信について
	③ 県 市・町	
	④ 県 市・町	
3 参加者	1. 中崎 秀紀 委員長	7. 里脇 清隆 委員
	2. 竹森 学 副委員長	8. 朝長 英美 委員
	3. 堀内 学 委員	9. 村上 秀明 委員
	4. 村崎 浩史 委員	10. 田中 博文 副議長
	5. 永尾 高宣 委員	11. 百武 修一 随員書記
4 視察経費	582,900 円 ※（10）人分	

# 議会運営委員会委員会先進地視察報告書

報告者 堀内 学

1 視察日	令和 5 年 11 月 7 日		
2 視察地	京都府 八幡市		
3 参加者	1 中崎 秀紀 委員長	5 永尾 高宜 委員	9 田中 博文 副議長
	2 竹森 学 副委員長	6 里脇 清隆 委員	10 百武 修一 書記
	3 村上 秀明 委員	7 村崎 浩史 委員	
	4 朝長 英美 委員	8 堀内 学 委員	
4 視察項目	「市庁舎建設における議場及び議会棟設備について」		
5 視察先選定理由・目的	大村市庁舎建設に伴い議場及び議会フロア整備に当たっての調整経過など参考にするため		
6 視察内容	<p>京都府八幡市          ・人口 69365 人 ・世帯数 33835 市面積 24.35k m<sup>2</sup></p> <p>京都府の南西部、木津川・宇治川・桂川の 3 つが合流して淀川となる地点に位置し、大阪府境に接しており、京都市と大阪市という二大都市の中間にあって、交通機関の立地な条件を有している京都府八幡市の市庁舎建設における議場及び議会棟設備について視察させていただきました。</p> <p>旧市役所(昭和 53 年)が、耐震診断・Is 値 0.27 と判明。大規模な地震により倒壊や崩壊の危険性が高いことから旧市庁舎横の駐車場に現地建て替えを報告</p> 		

## ① 建て替えまでの経緯

平成 27 年 10 月 庁舎整備等検討特別委員会設置

平成 28 年 3 月 市役所庁舎整備にかかる提言を提出

平成 29 年 10 月 庁舎整備基本計画策定に関する提案を提出

平成 29 年 12 月 庁舎整備基本設計策定に関する提案を提出

平成 30 年 3 月 新庁舎整備基本計画を策定

令和元年 5 月 新庁舎整備基本設計を策定

令和元年 12 月 デザインビルド方式により実施設計を着手

令和 2 年 10 月 建設工事を着手。議場設備等の打ち合わせを事務局、理事者、業者間で実施

令和 4 年 7 月 建物竣工。議場設備等の配置を事務局理事者、業者間で現地確認

令和 5 年 1 月 開庁 約 80 億円(駐車場、倉庫等) 6 階建て

従来方式【分離発注型】ではなく、基本設計先行デザインビルド【実施設計・施工一括】の採用によりコスト削減・工期短縮

## ② 議会フロア

・6階(最上階)全部が議会フロア 事務局や会派室諸室を横移動で可能となるように集約



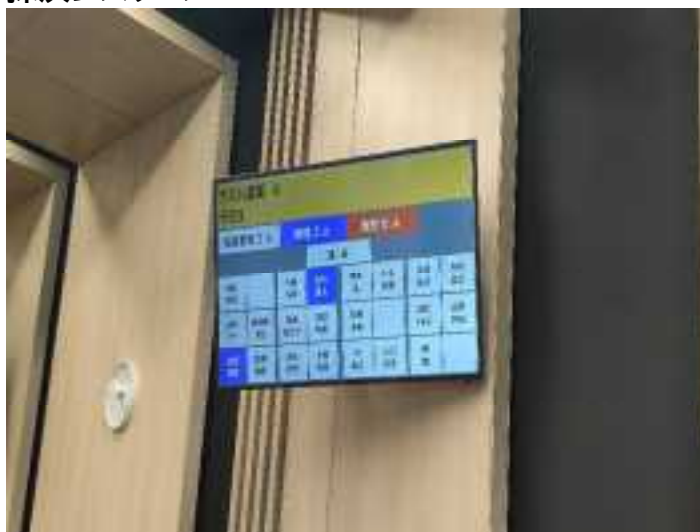
・視認性を考慮した段床式の構成



議場は自動調整可能。フロアーや傍聴席はバリアフリー対応



採決システム



議会図書館



### ③ 問題点



- ・議員席の棚が小さい → A4サイズ以上は、はみ出す
- ・ドアの開閉 → 場所によっては不便
- ・会派室の壁 → 画鋲禁止
- ・市民に親しまれ開かれた議場・議会をテーマに傍聴席の後ろをガラス張りにし、見える化を図ったが、西日の都合上、ブラインドをおろしている状況
- ・議員席の隣同士の感覚が狭い

### 7 委員会 所見

八幡市庁舎建設における議場及び議会棟設備について、議会フロアは最上階に設置し、議場や正副議長室など関連諸室は、動線に配慮するため同一フロアに集約し、議決機関としての機能が十分に発揮できる配置で、ユニバーサルデザインやバリアフリーを取り入れ、また、男山を一望できる展望ロビーもあり、来庁者に親しみやすい開かれた空間構成であると感じました。一方、議場全体の狭さ、傍聴席との距離の近さ、など現職議員の方より、忌憚のないご意見も伺うことができました。

全国的に議会の傍聴や議会への市民参加と交流などコミュニケーション形態に適時対応でき、的確に機能するとともに、議会閉会中における市民に開かれた多目的に利用できる議場づくりが求められる中、議場という格式ある空間にふさわしい、重量感のある仕様の必要性を感じました。

今回の視察を参考に議会運営委員会において、各議員の意見を集約・整理した上で議会フロア・議場についての提案をまとめることとする。

# 議会運営委員会先進地視察報告書

報告者 竹森 学

1 視察日	令和 5 年 11 月 8 日	
2 視察地	愛知県 常滑市	
3 参加者	議会運営委員会	
	1. 中崎 秀紀 委員長	6. 村崎 浩史 委員
	2. 村上 秀明 委員	7. 堀内 学 委員
	3. 永尾 高宣 委員	8. 田中 博文 副議長
	4. 朝長 英美 委員	9. 竹森 学 副委員長
	5. 里脇 清隆 委員	10. 百武 修一 書記
4 視察項目	・新庁舎建設における議場及び議会棟設備について ・YouTubeを活用した情報発信について	
5 視察先選定理由・目的	新庁舎建設における新たな議場整備について先進事例に学ぶため	
	<p>●常滑市概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人口 約58,000人 世帯数 約25,000世帯</li><li>・面積 55,90km<sup>2</sup></li><li>・議会 定数18 男性14人 女性4人</li><li>・古くから焼き物の里として栄える。</li></ul> <p>●新庁舎建設経緯</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・旧庁舎 昭和44年建設で50年以上経過</li></ul> <p>耐震性能の不足、津波による浸水の恐れがあり、災害時、復旧復興の拠点とならない。</p> <p>⇒平成28年熊本地震をきっかけに市庁舎のあり方を検討し、場所を高台に移して建設、同じ敷地内に市民病院、近隣に消防本部があり、災害時の連携もとりやすくしている。</p> <p>●新庁舎建設について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・設計 株式会社日建設計</li><li>・施工 鹿島建設・東海エコン・丸滝共同企業体</li></ul> <p>ESI方式採用により、13ヵ月で完成 令和4年1月から共用開始</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・庁舎、市民病院の利用者、職員が利用可能な立体駐車場を有し、新庁舎・市民病院と渡り廊下で繋がっている。</li></ul>	

## ●議場について

- ・議会フロアは3階に位置し、一般の方が入れないセキュリティエリアが整備されていて、カードキーで開錠する仕組みで会派室等はこの中に設置してある。
- ・会派室は3部屋 会派人数で分けて使用
- ・議場は全体が円形に作られていて理事者、議員席も輪を描くように配置されている。
- ・議長席が少し高く作られている以外、床面はフラットで机椅子は可動式となっており、式典など多目的に使えるようになっている。
- ・傍聴席は議場と高さはほぼ同じで動線もバリアフリーとなっており、距離も近く一体感ある作りとなっている。
- ・傍聴席モニターに音声の文字変換、音が聞きやすくなる。  
\*磁気ループあり
- ・委員会室は1部屋 すべての委員会審査、全員協議会を行う。定点カメラが1台設置してあり議案審査をYouTubeで録画配信している。

## ●議場整備にあたっての執行部との調整について

- ・令和2年度に「公共施設調査特別委員会」を設置し、全12回の内、5回が議場フロアについてを議題とする。  
壁の材質や議場家具等について執行部からの提案について議論する形で進めていった。

## ●旧庁舎からの改善・変更点について

### ○議場システムの導入

- ・発言者のマイクをオンにすると連動してカメラが撮影それをYouTubeで録画配信
- ・一般質問をケーブルテレビで生中継、及び録画放送
- ・一般質問時、資料をスクリーン、モニターに表示等

### ○タブレット端末の貸与

- ・Wi-Fi整備
- ・ペーパーレスシステムの導入

6 視察内容

●**議会運営・ルールの変更点**

- ・会派室の整備(旧庁舎では無し)
- ・ペーパーレスシステム導入によるペーパーレス化
- ・オンライン委員会の開催(コロナ禍に3回実施)
- ・本会議全日程・信議案の委員会審査をYouTubeで録画配信
- ・セキュリティエリア整備のため執務室への入室不可

●**問題点**

- ・机上のワイヤレスマイクで音声の途切れが生じ、YouTubeやケーブルテレビで聞き取れないところがある。  
また、バッテリーを毎回充電する必要がある。
- ・議場を多目的に利用する際、机・椅子の撤去・設置作業が大変(コンセントの抜き差し等含め)
- ・事務局席の位置が執行部後ろにあるため、議員への対応がしにくい。
- ・カメラやテロップ操作のため2人必要となった(以前は1人で操作)

●**YouTubeを使った情報発信**

「常滑議会ニュース」の取り組みについて

- ・今年度、3つの特別委員会を設置  
その中の1つ、「議会改革プロジェクト特別委員会」は4月の市議選において、投票率が初めて50%を下回ったことから、市民ニーズをとらえた新しい議会のあり方の模索・実行が市民から求められているとの推察により  
⇒内部改善・対外的改革の調査研究、及び推進のため設置
- ・委員長の提案から議会への関心を強めるための動画を作成  
議会構成や委員会を紹介するものから、一般質問への意気込みを議員本人が語るもの、議案についての報告の動画や、市民アンケートへの協力のお願いや中間報告、結果速報等を配信  
※現在までに10本作成



●常滑市議会による市民アンケート実施状況

期間 7月1日～8月31日

質問数 17問

回答数 733件

・市の各SNSでもPRしたところ、その日はアンケートへのアクセスが増加

・SNS投稿時にアップした動画はアクセス数が飛躍的に増加その他の動画も若干増加した。

⇒SNSと連携したPRが効果的という結果が出た

●今後の課題

・議会改革プロジェクト特別委員会の委員長が資料や読み原稿等すべてを作成していたため、来年度以降、特別委員会が設置されなかった場合、誰が主体となって継続するのか。

○市民病院と同じ敷地にあり、圧迫感を出さないようにということで、新庁舎はシンプル、コンパクトに設計されたそうで、議会フロアも各部屋の配置やスペースの確保に苦心されたことと推察しますが、会派室は3部屋ではやはり少ないという地元議員の意見があった。本市では現状を鑑みて設計するべきと考えます。

○円形に作られた議場は新鮮であったが、根本的にスペースが狭く、議員と理事者が通路を挟んで隣同士になる形になるのは、個人的には好まないと感じました。

行政に敵対するわけではありませんが、市民の代表として相対するような配置が新しい議場では望ましいと思います。

7 所

見

また、三日月型の傍聴席も非常にタイトなスペースとなっており、高さが無い。ある程度高さがあるほうが傍聴しやすいように感じます。

○多目的利用についてはその都度の撤去・再設置にかなりの労力が必要で、設備についてもバッテリーの充電等、日常的に手間が発生していることから考えると、多目的利用については必要性から考えるべきかと思えます。

○カメラ、マイク等の設備に関しては最新のシステムで便利に感じますが、人手や手間がかからないシステムの導入を望みます。

今回の視察を生かして、今後、数十年使用されていく新たな議場としての形を明確にいてまいりたいと考えます。